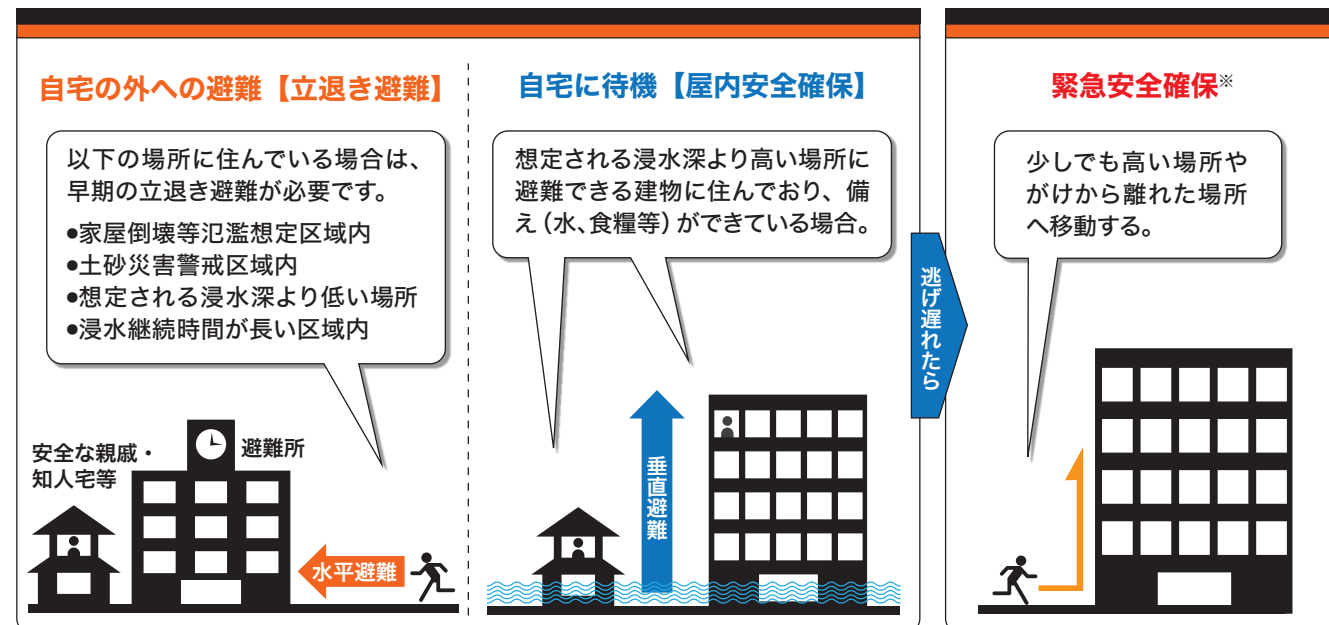


洪水時の適切な避難行動

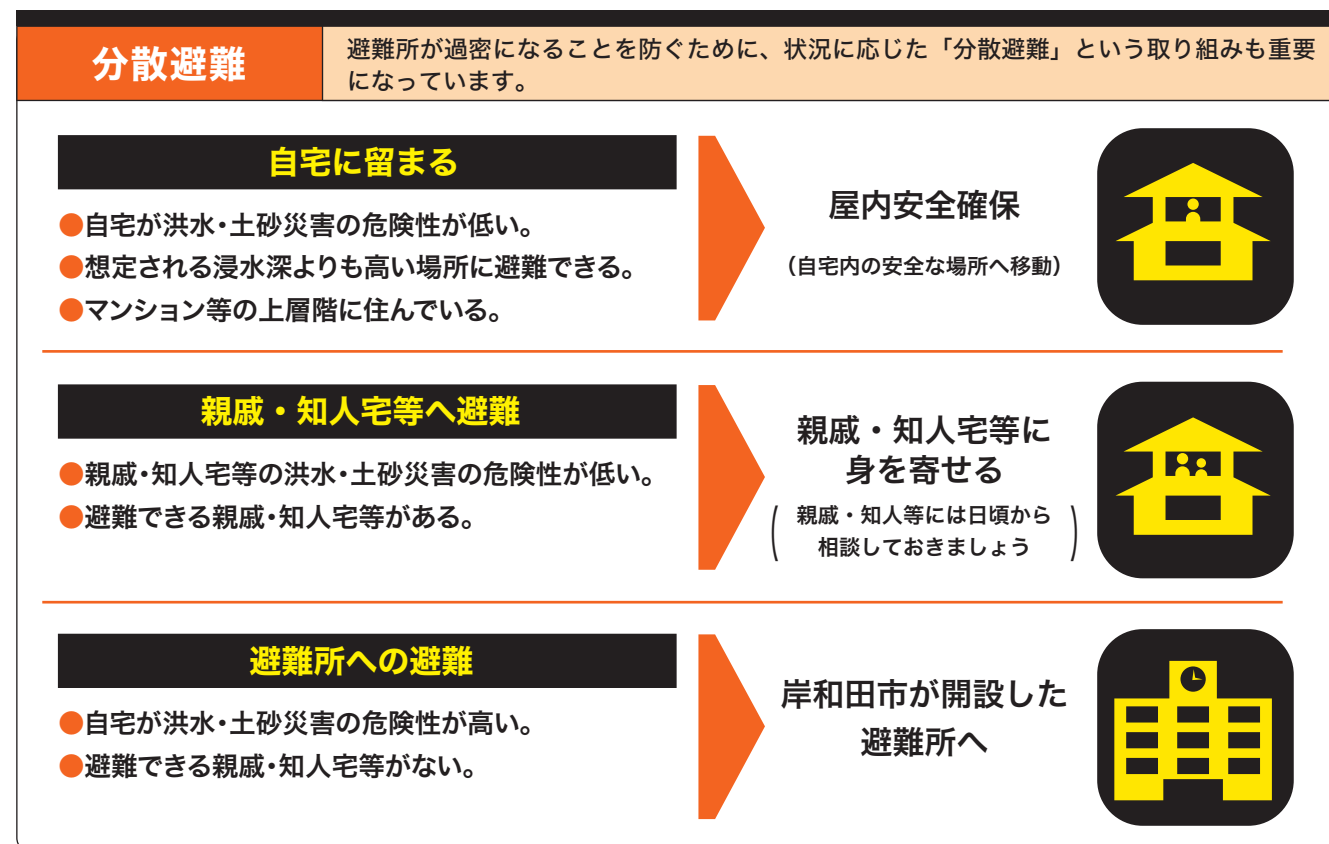
避難行動の種類

避難行動には、以下のような種類があります。状況に応じて、適切な避難行動を取りましょう。
避難は「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則です。



※緊急安全確保は、災害が発生・切迫した段階での行動です。やむを得ず立退き避難ができず、避難し遅れた居住者等がとる次善の行動です。そのため、本行動を安全に取ることができるとは限らず、また本行動を取ったとしても身の安全を確保できるとは限りません。警戒レベル4 避難指示までに全員避難してください。

避難とは「難」を「避ける」ことです。不特定多数の人が集まる避難所等では感染症の感染拡大のリスクが高まります。避難所に避難する以外の方法（分散避難）についても考えてみましょう。



避難をする時の心得



地域での助け合い

